

アウクスブルク滞在記

中塚 康太

今回、尼崎市の青年使節団として姉妹都市であるドイツ・アウクスブルク市を訪問しました。約 10 日間の滞在を通して、とても素晴らしい体験ができました。

自身の成長につながったキッカケ

この派遣のメンバーに選んでいただいたことは本当に嬉しかったのですが、海外でのホームステイは久しぶりであり、何よりドイツ語圏の家庭で約 1 週間生活することがとても不安でした。大学でドイツ語を学んでいる以上、せっかくドイツに行くからにはドイツ語で会話したいと思い、出発まで猛勉強しました。そして現地に到着し、ホストファミリーにドイツ語で挨拶や自己紹介ができた時はやりがいを感じ、1 週間本気でドイツ語を吸収しよう決めました。まだまだ習いたての拙いドイツ語でしたが、ホストファミリーは飽きることなく聞いてくれて、上達のアドバイスを英語で教えてもらいました。以前までは難しいイメージだったドイツ語の授業がこのおかげで楽しく学べるようになりました。

喜んでくれた日本からのお土産

私は今まで何度かホームステイをした経験がありますが、そこでお土産は一般的な日本の伝統品に加え、自分が好きなものを渡せばよいと思いました。自分が好きなものであればそれについて話を広げることが出来るからです。なので今回は置物やお箸、食べ物ではお茶漬けや定番のスナック菓子

に加えて、私が大好きな日本のサッカーチームのグッズも持って行きました。ホームステイ先の長男もサッカー好きだったので、お土産を渡した日以降もサッカーの話をよくしていました。おばあちゃんは大の親日家でリビングには書道作品が飾ってありました。お土産のお茶は美味しい美味しいと本当に喜んでくれ、とても良い時間でした。

ブレラー市民祭

ビールの祭典ブレラー市民祭は有名な歌手も招待され、とても盛り上がりました。私は未成年のためビールは飲みませんでした。1 人用が日本のものより遥かに大きく、ピッチャーのようなグラスでした。周りの初対面のドイツ人とも交流し、お祭りのような雰囲気には圧倒されましたが、成り行きに身を任せて楽しめました。そこに隣接されていた遊園地のアトラクションはとても激しかったです。

食生活

日本で、ドイツのスーパーマーケットで売られているチョコは本当に美味しいと聞きました。たしかに、向こうでチョコ買って帰って！と友達に言われました。それほどなのかなと半信半疑で食べてみると本当に美味しかったです。これほど美味しくくて 150 円程度と安いのなら毎日でも食べられると思いましたが、ホストファミリーにそれは太りやすいと言われました。

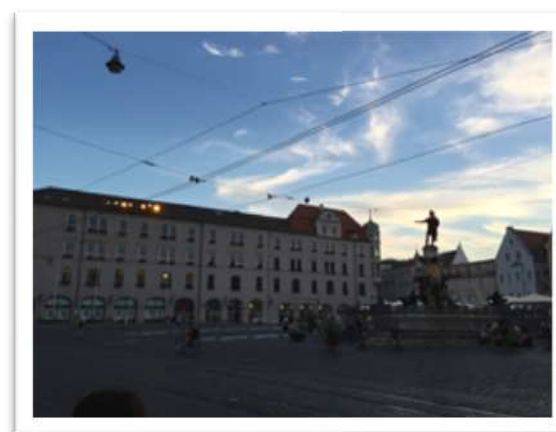
お昼はレストランでの食事でしたが、とても満足するものでした。



レストランでの昼食

中にはとても酸っぱい料理もありましたが、それはホストブラザ - も苦手だそうです。

晩ご飯は毎日家のガ - デンで食べました。ハエのような虫が少々気になりましたが、毎晩パ - ティ - みたいでした。家族全員が英語で会話してくれて、とても充実していました。



毎日の集合場所フィッシュマルクト

最後に . . .

今回の派遣で今の自分にとって、または将来の自分にとってかけがえのない体験ができました。今回の旅は尼崎市を代表して行ったものであり、個人旅行では立ち入れない場所、知ることのなかった知識がたくさんありました。

出発前はむしろ不安しかありませんでしたが、団員のみなさんやホストファミリーに恵まれ、大切な人・友達や思い出がまた増えました。今後の尼崎市の国際交流に積極的に参加したいと思っています。団長・副団長をはじめ尼崎市青年使節団の皆様、その他ご協力いただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



尼崎市青年使節団